

## 生活環境常任委員会他都市調査報告書

ねぎしかずこ

### ①10月23日 千葉市

#### 「千葉市消防局におけるメディカルコントロールについて」

千葉市消防局では、119番司令センターに24時間体制で医師を常駐し、救急出動時から医療機関へ搬送するまでの間、常に医師と救急隊員が連絡を取ることができる体制を整えていました。

訪れた「ちば消防共同指令センター」では、大勢の指令管制員の後方に医師が陣取り、指令管制員とともに、現場に赴いている救急隊員へ指示、指導・助言している様子を、ガラス越しに見せていただきました。

この常駐医師体制の効果は、\*現場の救急活動の質が担保される、\*医療機関との連携が深まる、\*指令管制員への指導や助言も行われ、管制員の口頭指導の質も高まるなどとのことでした。

また、大型連休や年末年始、大規模災害発生時では、常駐医師の確保が課題とのことでした。



②10月24日 松山市

「災害時における相互応援に関する協定」「消防団の充実強化について」

協定に関しては、実効性のあるものにしていく双方の不断の努力が大切だと感じました。

消防団に関しては、入団してもらうための新しい発想に、感心させられました。

日本郵政職員には、郵便業務が地域に精通する職務であることに着目し、その特性を活かす「郵政消防団員」として活躍してもらうようにしたこと、また、大学生には、大学生自身が消防や地域防災に興味や関心を持ち、卒業後は基本団員として地域消防団への入団や将来の防災の担い手にもなることを期待して、大規模災害時の防災活動のサポート役として一役を担ってもらうなど、それぞれの特性にマッチした任務に就いてもらうという発想に教えられました。



③10月25日 大津市

「ドギーバッグ運動について」

食べ残しを持ち帰りする「ドギーバッグ運動」に関連して、まずは「食べきり」を推進する3010（さんまるいちまる）運動に、関心を持ちました。

この運動は、自治連合会をはじめとする市民団体や事業所等で構成される「ごみ減量と資源再利用推進会議」と大津市とで行っているとのこと。

宴会の席では、乾杯後の30分は自席で食事を楽しみ、お開きの10分前にはまた自席に戻って食事を食べ切ることを推奨するものとのこと。食品ロス削減に向けた、ユニークでユーモラスな取り組みに、感心しました。

